

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第42回 『「朝方に舞い上がるミネルバの梟」～「勇ましき高尚なる生涯」～』

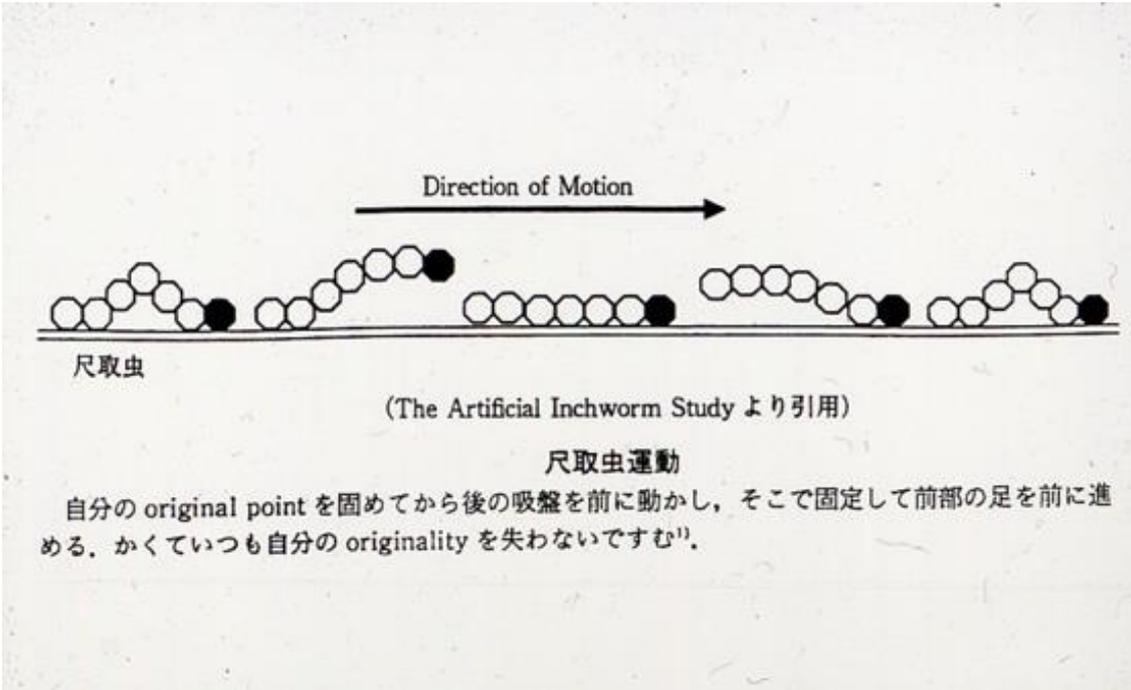
『夕闇に飛び立つミネルバの梟』は、ヘーゲル（1770 - 1831）が言った言葉である。『夕闇に飛び立つ』とは、「物事が解決してから 偉そうな口をたたく人：後追い」である。傍観者にならない『朝方に舞い上がるミネルバの梟』の姿勢が 大切ではなからうか！

大いなる人物というのは、収穫物というのは、存命中に実を結んだものだけではない。故に 後世に生まれた我々が これを『温故』し『創新』することによって 現代に貢献できる。これは「勇ましき高尚なる生涯」である。「勇ましき高尚」の「高尚」とは、人のために、我を忘れてやるものが高尚であり、「勇ましき」というのはイエスかノーかをはっきり言えることであろう。

競争的環境の中で、みな個性に輝きたいであろう。 どうしたら、個性に輝けるか。 『自らの強みを基盤にする：自分の専門職を持て！』 & 『自分の懐中電灯を持て！』 人の懐中電灯を借りてもしょうがない。 北極星みたいなものばかり求めるのではなく、自分の懐中電灯で 足元を照らすことが肝要であろう！ 『無くてならないものは多くない』、そして『無くてよいものに縛られるな』である。 もう一つ、尺取虫運動（画像参照）である。 『「自分のオリジナルポイントを固めてから、後ろの吸盤を前に動かし、そこで前に進む」：人物になれ』ということである。 筆者は、『チャウチャウ症候群』認定証を授与している。 認定の診断基準は、

- 1) チャウチャウ犬の風貌
- 2) 尺取虫運動
- 3) 沈黙で寄り添える

である。



尺取虫

(The Artificial Inchworm Study より引用)

尺取虫運動

自分の original point を固めてから後の吸盤を前に動かす、そこで固定して前部の足を前に進める。かくていつも自分の originality を失わないですむ¹⁾。